

未来へつなごう

コープデリは「未来へつなごう」をスローガンにSDGsの取り組みを進めています。
美ら島応援もずくプロジェクトは「未来へつなごう」の一つです。



もずくの収穫は
バキュームでの吸引。
ホースが付いた機械で、
海中に潜って
収穫します

美ら島応援もずくプロジェクト

伊平屋島がこの先もずっと、美しい島でありまますように

対象商品の一例



産直 沖縄県伊平屋島産
味付太もずく(土佐酢)

産直 沖縄県伊平屋島産
味付もずく(米黒酢入り)



新商品登場!

産直 沖縄県伊平屋島産
もずくとおくら・長芋の
とうろろスープ

伊平屋島産もずくに、もずくとよく合うネバネバ食材の
おくら・長芋と、だしのきいた醤油ベースのスープを
セットした冷凍ミールキット。
宅配で8月3回・9月2回に取り扱う予定です。

コープデリグループでは、35年
以上の長きにわたり、伊平屋島産
のもずくを販売。産直産地として、
島と親交を深めてきました。産地
との交流の中で島の現状を知り、
「伊平屋島の自然を守りたい」と
2010年に始めたのが、「美ら
島応援もずくプロジェクト」。伊
平屋島産のもずく商品のお買い上
げ1点につき1円を「コープデリ
美ら島応援基金」に寄付し、寄付
金はごみの運搬・処理や砂地の浄
化といった自然環境保護活動など



役員員・組合員理事が島を訪問し、
海岸清掃に参加しました

食べることで生産者を応援できる

に活用されます。おいしいもずく
を食べることで、島の美しい自然
を守ることができます。

2022年度寄付額 154万8,758円
累計寄付額 1,728万4,210円



ウミガメを育む
「伊平屋島産もずく」を、
ぜひご賞味ください

沖縄県島尻郡伊平屋村
村長
名嘉 律夫さん

伊平屋村は、豊かな自然環境を守りながら農林水産業
を基幹産業とする小さな離島です。本村のもずくは、
透き通る海と漁業者の努力によって養殖される特産物
ですが、その海岸へはプラスチックを中心とした漂着
ごみが毎年大量に押し寄せます。
昨年も、実に89トンのごみを回収し、その処理に
おきましては、皆さまからあたたかいご支援をいただき
心から感謝いたします。これからも、おいしいもず
くをたくさん食べて、美ら島おきなわ・伊平屋島を
応援していただきますようお願いいたします。

これからも良質な
もずくを生産します



伊平屋村漁業協同組合 組合長
新垣 雅士さん

この取り組みが始まり13年目、
毎年多額の基金のご寄付をいただき心より感謝申し上
げます。今年は4年ぶりにコープデリグループの役員員・
組合員理事の皆さまが伊平屋島を訪れ、もずくや環境
に対する思いを語り合い、交流させていただきました。
その際、多くの組合員さんからの心温まるメッセージを
いただき、皆さまと我々生産者がかたい絆で結ばれて
いることを実感しました。経済情勢の変化で大変厳しい
状況が続きますが、良質なもずくを生産し、組合員
の皆さまへお届けしますので、今後とも伊平屋島も
ずくをご愛顧くださいますようお願いいたします。

自然豊かな 「美ら島」伊平屋島



どこまでも続く透き通った海。
真っ白な砂浜。沖縄県の最北端
にある伊平屋島は、「沖縄の原風
景」と言われる豊かな自然が残
り、絶滅が心配されるウミガメ
の数少ない産卵場所です。
豊かな海の中で養殖するもず
くは、島の特産物。透明度の高
い海を通して、もずくに太陽の
光がさんさんとあたります。さ
らに砂浜からの照り返しも受け、
光合成を促進。太くて枝分かれ
が多く、ぬめりと歯ごたえのあ
るおいしいもずくに育ちます。



しかしその島の砂浜に、海から
大量のプラスチックごみが流れ着
いています。ごみがあるとウミガ
メは砂浜に上陸できず、産卵がで
きません。島をあげて海岸清掃を
行っていますが、島にはごみの最
終処分施設がないため、沖縄本島
までごみを船で運ばなければなら
ません。その費用は、島の大きな
負担となっています。

脅かされる
ウミガメのふるさと

動画も
公開中!



コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標12:

つくる責任 つかう責任

につながっています。

